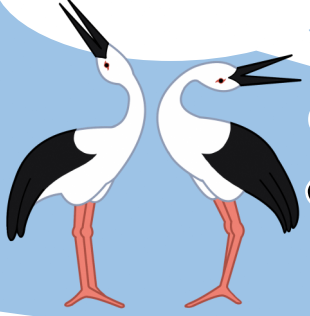


コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第192号

「関白宣言？甘い誘い？」

2025年9月1日

今回は、クラッタリング（嘴をカタカタ鳴らすこと）を見ての私の見解です。

今まで2羽でのクラッタリングは、2羽の仲が良い時や、空（♂）が花（♀）に近づいて花が逃げる時に行うことが多く、空だけで行うことはあまり見られませんでした。

しかし、この夏ごろから空だけのクラッタリングが始まりました。例えば、奥の巢台に空がいて、手前の止まり木に花がいる時に、時々カタカタが見られます。これは朝方に多いようです。空が2回ほどカタカタカタ。その後、花は奥の巢台の空のもとへ行き、2羽で一緒に過ごしていました。



奥の止まり木に花 手前の巢台に空



巢台で空がクラッタリング

また数日後、3回同じ場所で空がカタカタ。花はまた空の元へ飛んでいきました。

その2日後は、奥の巣台で空がカタカタ。今度は1回のクラッタリングで花は空の元へいくようになりました。

このご時世なので、亭主関白に“呼びつけている”というよりも、朝日が当たり始めたから一緒に羽繕いしよう、と声をかけている感じかな。

少し前まで、夜間は風の通りの良いフェンス沿いで過ごすことが多かった2羽ですが、最近は止まり木近くにいることも増えてきました。のんびり過ごしている2羽の様子も見に来てくださいね。



花も来て、2羽でクラッタリング



丁寧に羽繕いする空と、羽繕い後のモフモフの花

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：しみじい